



どこからきたの？おべんとう

鈴木 まもる

おべんとうには卵焼き、アジフライ、ポテトサラダなどおいしいものがいっぱい！でも、どこから来て、どうやって食べられるようになるのかな。食材の生産現場、流通過程、調理の仕方もわかるユニークな食育絵本。（あぶた読書の家所蔵）

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)

【時間】 10時～16時20分 【休館日】 木曜日、祝日

みずうみ読書の家(☎ 76-2100〈あぶた読書の家〉)

【時間】 9時～17時 【休館日】 木曜日、祝日

洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)

【時間】 9時～16時30分 【休館日】 なし

新刊案内

■あぶた読書の家

▲一般▽透明な螺旋（東

野圭吾）▽ボーダーライト

（今野敏）▽ペッパーズゴー

スト（伊坂幸太郎）▽子のな

い夫婦と猫（群ようこ）▽能

面検事の奮迅（中山七里）▽

自転しながら公転する（山本

文緒）▽ブルースRed（桜

木紫乃）▽民王 シベリアの

陰謀（池井戸潤）▽さよなら

も言えないうちに（川口俊和）

▽月曜日の抹茶カフェ（青山

美智子）▽二人の嘘（一雫ラ

イオン）▽PIT特殊心理捜

査班・水無月玲（五十嵐貴久）

▽喰う淑女 二人（中山七里）

▽本が紡いだ五つの軌跡（森

沢明夫）▽この夜が明ければ

（岩井圭也）▽パラダイス・ガ

ーデンの喪失（若竹七海）▽

小さい預言者（浮穴みみ）▽

カミサマはそういない（深緑

野分）▽陰の人 吉原裏同心

（36）（佐伯泰英）▽美しい日

本へ絶景の旅（K&Bパブリ

ッシャーズ編集部）

▲児童書▽ふしぎな駄菓子

屋銭天堂（廣島玲子）▽わら

絵本の玉手箱 2月のおはなし会

■日時 ①2月14日（月）、28日（月）10時～11時30分、2月17日（木）14時30分～15時30分②2月18日（金）14時～15時30分

■場所 ①あぶた母と子の館②あぶた読書の家

■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)

※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

■洞爺総合センター図書室

▲一般▽わたしの良い子

（寺地はるな）▽白光（朝井ま

かて）▽背高泡立草（古川真

人）▽赤朽葉家の伝説（桜庭

一樹）▽私が語りはじめた彼

は（三浦しをん）

▲児童書▽このパンなにパ

ン？（ふじもとのりこ）▽ね

こは るすばん（町田尚子）

地域おこし協力隊



通信

vol.46

今月の
リポーター
佐川千明さん



と うや水の駅を拠点に活
動している地域おこし

協力隊の佐川です。移住し

て初めての冬を過ごしてい

ますが、雪の多さに驚いて

います。あまり雪にはなじ

みのない四国出身の私は、

しんしんと降る雪や冬の洞

爺湖を眺めるたびに見とれ

てしまいます。

しかし、雪かきは大変で

すね。慣れない私に近所の

人たちは道具選びから効率

的な方法まで親切に教えて

下さり、とても助けられて

います。雪かきだけでなく、

まだ不慣れなことも多い環

境での子育てでは地域の人

たちに気にかけていただく

ことも多く、あらゆる場面

で人とのつながりの大切さ

やありがたさを感じていま

す。

さて、とうや水の駅は昨

年10月末に「うどんのさぬ

き屋」が閉店してしまい、と

ても寂しくなっていました

した。このご時世というこ

ともありますが冬季はさら

に訪れる観光客が減り、館

内は静かな日も多いです。

しかし、昨年秋ごろから

イベントやキッチンカー出

店などを行うことができました。

町内外からさまざまな

な人のお力添えをいただき

ながら、季節問わず大勢に

足を運んでもらえるような

施設を目指してスタッフ一

同模索中です。今後は観光

客はもちろん、地域の人た

ちが憩えるコミュニティス

ペースのような場所にもし

ていけたらいいですね。

これからも洞爺の魅力

をどんどん発掘・発信してい

きたいと思っております。よろ

しくお願いいたします。